

第 114 期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

株主の皆様へ

YODOGAWA STEEL WORKS
Steel sheet / Building material / Exterior / Roll / Grating

株式会社 淀川製鋼所

証券コード5451

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 当社の第114期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の事業の内容につきまして
 ご報告申し上げます。

平成25年6月



代表取締役会長

國保 善次

「安全・安心・環境・景観を
 キーワードに“個性ある価値”
 を備えた商品を提供し、顧客
 満足を生み出します」



代表取締役社長

河本 隆明

「最も合理的かつ効率的な
 方法を考え、着実に実行、
 評価、改善していくことにより、
 “自主自立”経営の強化につ
 なげっていきます」

国内市場でのシェア拡大と、 海外事業の強化で 新たな成長を着実にめざしていきます

Q 社長に就任して一年を振り返って、
 感想をお聞かせください。

A 企画力と総合力を発揮した
 取り組みで成果を実感

当社グループの基本方針は「自主自立」にあり、
 原材料の調達から商品の販売に至るまで、独立系
 メーカーとしての強みを最大限活かす経営を追求して
 います。社長就任後は、この「自主自立」の強みを
 さらに追求し、これまで培ってきた企画力と総合力を
 発揮した経営に努めてきました。経営環境は依然とし

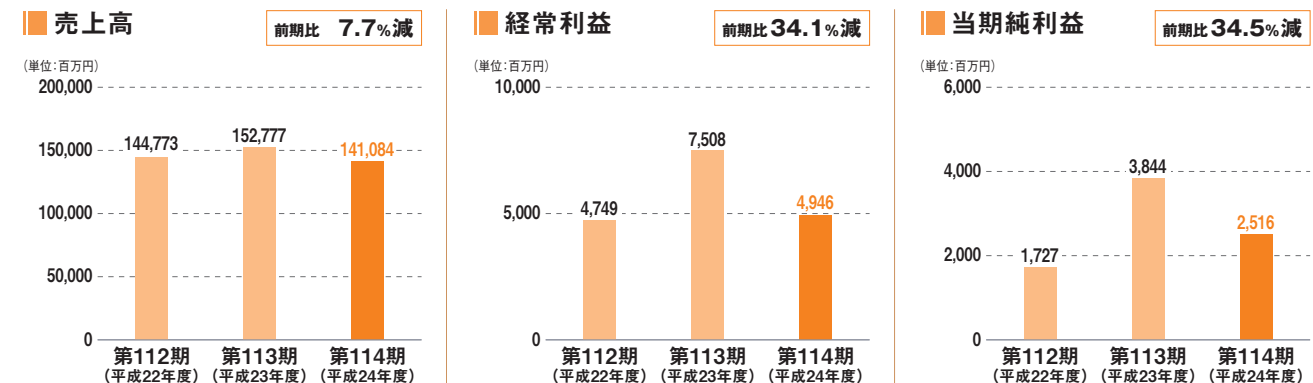


代表取締役社長 河本 隆明

て厳しいものがありますが、商品の開発から生産、販
 売に至るまで取り組みの成果が着実に表われてきたと
 実感しています。

連結業績の推移

(注) 金額は単位未満を切り捨てています。



今後も企画力、総合力にさらに磨きをかけ、お客様のニーズに即した商品とサービスをタイムリーにお届けし、企業価値の向上を図っていくことが経営者としての使命であると肝に銘じています。

Q 当期（2012年度）の市場環境と業績はいかがでしたか？

A 市況の低迷と価格下落が業績に影響

当期の鉄鋼市場は、世界経済の停滞と中国鉄鋼業の供給過剰の影響などから、世界的に鉄鋼製品の価格下落が進み、大変厳しい環境となりました。当社グループとしても、円高の影響から鋼板商品や鉄鋼向けロールで輸出の販売量は大きく落ち込み、減収減益という厳しい結果となりました。国内市場では、鉱工業生産が弱含む状況で推移し需要が落ち込んだことに加え、韓国をはじめとする安価輸入材の影響などから、建材向けめっき鋼板を中心に価格競争が激化しました。

これに対し、ここ数年当社では、従来は建材商品の販売を担当していた国内20か所の営業所が鋼板商品の販売も併せて担当することで、総合力を発揮することに力を注いでまいりました。各地域でお客様に顔の見えるきめ細やかな営業に努めた結果、国内の一般流通向け鋼板商品では販売量は伸びました。ただし、残念ながら価格下落の影響から売上は減少しております。建材のエクステリア商品では、ここ数年に発売した新商品がいずれもお客様からご好評をいただいていること

に加え、テレビCMをはじめとする積極的な販売促進活動の相乗効果もあって、多くの商品で販売量が伸び増収となりました。

年末の政権交代を機に、円高の是正と株価の回復が進み、明るい兆しが見え始めていると感じております。鉄鋼市場では海外でこの年初から市況がやや改善しておりますし、国内市場でも年度末から回復の兆しが見え始めているとの印象を持っております。

Q 海外事業の現状について教えてください。

A 中国およびタイの新設ラインが本格稼働へ

海外における生産・販売拠点の拡充ですが、中国・タイいずれのプロジェクトも着実に進行しています。まずタイの子会社PCM PROCESSING (THAILAND) LTD. (PPT社) に新設したカラー鋼板製造ラインは、無事に稼働しました。すでに出荷を開始しており、徐々に生産量を高めていく予定です。そして、従来から取引のある日系の家電メーカー様や、東南アジアの新しいお客様との信頼関係を築きながら、拡販を図っていく計画です。

一方、中国の子会社淀川盛餘（合肥）高科技鋼板有



PCM PROCESSING (THAILAND) LTD.



淀川盛餘（合肥）高科技鋼板有限公司

限公司（YSS社）でも、めっき鋼板とカラー鋼板の製造ラインが完成しました。こちらも今夏からの本格稼働に向けた準備を進めています。今後、主要なお客様である家電メーカー様をはじめ、オフィス機器や建築材料のメーカー様に向けて、中国マーケットを主体に高品質なめっき鋼板やカラー鋼板を販売していきます。

中国、タイの製造ラインの新設により、海外における表面処理鋼板の製造・加工拠点は、台湾・中国・タイ・マレーシアの4か国に及び、国内の拠点と合わせて戦略的なグローバル展開がより一層可能になりました。このネットワークを活かして、海外事業の拡充を図っていきます。

Q 国内における課題と取り組みについて教えてください。

A 事業部門間のコラボレーションを推進

当社グループでは、成長戦略の重点課題として、「海外事業の拡充」にも注力する一方、国内市場においては「営業基盤の強化」に努めています。国内においては、市場全体が縮小していくなかで、シェアアップとニッチな分野での需要の掘り起こしが大きな課題と考えております。この一年間、課題の解決に向けて組織改革と人事交流などを促進してきました。組織の活性化を図ってきたことで、事業部門間のコラボレーションが生

まれています。

当社の強みである企画力や総合力を発揮した取り組みは、JR大阪駅のリニューアルにともなう大屋根工事や、関西国際空港第2ターミナルビルの工事などのプロジェクトにおいて、素材である鋼板とその性能や特徴を最大限に活かす建材への加工、さらには大手ゼネコン様から盤石の信頼をいただいている施工力といった面で発揮されてきました。今後も素材から施工に至るまで、お客様のご要望にワンストップでお応えできる体制を強化していく考えです。また、全国20営業所間の情報交換を密接に行い、地域のニーズをキャッチして、スピーディに定める取り組みを進めていきます。

ニッチ市場の開拓例では、特徴的な意匠を持つカラー鋼板の開発を挙げる事ができます。単色の商品に加えて、柄物のバリエーションをそろえているほか、特殊な印刷技術でこれまでにない意匠を実現するような商品も検討しています。また、グレーチング商品では、パワーアシスト機構により軽い力で開け閉めができる「ヨドかるがるグレーチング」が、積雪地方で流雪溝の蓋としてご好評をいただいています。さらには、マーケティング専任部署を設置し時代のニーズを的確にとらえて、社会に役に立つ“個性ある価値”を備えた商品を提供できるよう取り組んでおります。

当社グループが培ってきた企画力や総合力を、お客様にこれまで以上にご理解していただくための取り組みも必要であると考えています。具体的には、工場の



「ハイブリッドグラデーション」(意匠鋼板) 施工例

生産ラインや試験設備などをお客様に見学していただいた上で、お客様の商品開発のサポートや協業の可能性などを広げていきます。また、商品の耐久性や強度などの試験データをタイムリーに提供していくことで、これまで以上にお客様のご要望に応えるヨドコウを追求していきたいと考えています。

Q 「新型エスモ」の市場の反応はいかがですか？

A テレビCMがブランドイメージの向上に貢献

2012年春にヨド小型物置「新型エスモ」を発売しました。「エスモ」は2001年の発売以来、お客様のご要望を反映させながら改良を重ねてきたものです。「3枚扉」によって開口部が広いので、荷物の出し入れに便利な点が大きな特長です。

おかげさまで、「新型エスモ」はたいへん好評です。また、販売の現場でも販売店様とエンドユーザー様との間でテレビCMなどが話題として取り上げられる機会が一気に増えたことで、「エスモ」に限らず、当社エクステリア商品全体の需要喚起につながっています。2013年春からはテレ



ビCMの第2弾として、「3枚トビラで収納レポリューション」というキャッチコピーを用いて、「エスモ」の拡販をさらに図っていく考えです。

テレビCMにとどまらず、当社では物置の新たな需要を開拓する取り組みも進めています。その一つが「防災倉庫」としての提案です。耐久性や断熱性に優れた当社物置の特長を活かして、地域のニーズに即した緊急時の備えとして提案を展開しています。このなかで、物置だけでなく、防災用品のセット販売も行うことで、自治体などお客様のご要望にきめ細かく対応しています。



Q 今期（2013年度）の展望はいかがでしょうか？

A 国内外の重要課題に取り組み、増収増益をめざす

国内では、円高の是正や株価の上昇に伴う景気の改善と歩調を合わせ、鉄鋼市場も改善していくことを期待しております。円高の是正は原材料やエネルギー価格の上昇などのマイナス面もありますが、海外と国内のいずれの市場にとっても海外メーカーとのイコールフッティングの面から歓迎すべきと考えております。

海外鉄鋼市場は、この年初から市況がやや改善しておりますが、中国鉄鋼業の供給過剰問題が再び不透明な状況になっており、後半は厳しい市況になると予想しております。

このような状況のなか、当社グループでは、中国とタイの新しいラインがいよいよ稼働しました。今期はフル稼働とはまいりませんが、来期以降に向け着実に生産と販売を上げていきます。

今期は国内の景況感が改善の兆しを見せているとはいえ、楽観はできない状況です。昨今の為替動向をとってみても、ビジネスのチャンスとリスクは表裏一体といえます。経営者として経済情勢を注視した上で、先を見すえた経営判断に努め、増収増益に向けて全力を尽くしてまいります。

Q 昨年から取り組んでいる震災復興支援について教えてください。

A 中長期の視点で被災地における植樹活動を支援

当社グループでは、東北復興支援プロジェクトの一環として、2012年春から「SAKURA+PROJECT（サクラプラス・プロジェクト）」に参画しています。これは被災地の復興を願って、東北地方に桜の植樹を行う取り組みです。現在は、福島県の国道沿いに植樹する計画が進んでいます。当社では、



ヨド物置の売上げの一部をこのプロジェクトに寄付しました。今後も引き続き、被災地を中長期にわたり支援していく考えです。

Q 最後に、今後に向けた抱負をお聞かせください。

A 企画力と総合力をさらに発揮した経営へ

当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が今後も続くものと思われれます。このような状況のなかでも国内基盤の強化およびグローバル展開という施策を着実に進めていくことが企業価値向上につながると考えています。また、時代の先を見すえるのが難しい時代にあっては、お客様の求めるものを的確に開発して、素早く提供することが重要と考えます。加えて、商品の提供にとどまらず、お客様の役に立つサービスを提供することで、商品としての付加価値を追求することが欠かせません。

当社グループでは、企画力と総合力をさらに発揮して、事業の可能性を広げていく考えです。

つきましては、今後とも株主の皆様におかれましては、引き続きご愛顧のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



鋼板関連事業

鋼板業務

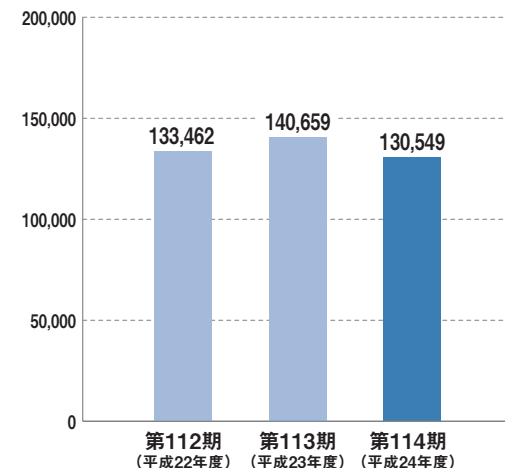
- ▶ 円高の影響から輸出版売量が減少。
- ▶ 建材向けのめっき鋼板は、価格競争激化の影響を受け販売量が減少。
- ▶ 家電向けは、省エネ家電の販売好調などから比較的堅調に推移。
- ▶ 国内一般流通向けは、地域密着営業や商品PR、施工技術の情報提供に努め、販売量は増加。
- ▶ センユースチール社は、アジア市場の低迷のなか、台湾国内・輸出とも販売量が減少し減収。



PPT社 カラー鋼板製造ライン

130,549百万円
(前期比7.2%減)

売上高推移 (単位:百万円)



関西国際空港第2ターミナルビル

写真提供: 新関西国際空港株式会社様

建材業務

- ▶ 建材商品は、価格下落が続くなか、積極販売に努め増収。
- ▶ エクステリア商品は、新型物置「エスモ」のテレビCMなど、積極的拡販施策の効果がエクステリア全体に波及し増収。
- ▶ 防災意識の高まりに伴い防災倉庫の引き合いも増加。
- ▶ 工事グループは、関西国際空港第2ターミナルビルなどの大型物件を完工し増収。



ヨド物置エスモ

今後の取り組み

(鋼板業務)

環境対応商品や高付加価値商品の拡販、新規市場の開拓に努めます。
海外は、営業生産を開始する中国子会社・YSS社、タイ子会社・PPT社の生産及び販売の早期軌道のせに努めます。

(建材業務)

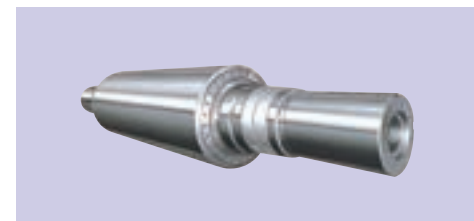
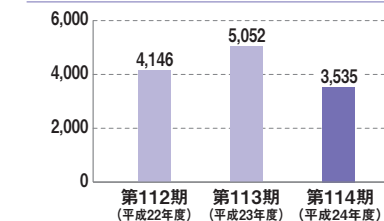
今後ともお客様のニーズを的確に捉え商品の開発、提案、拡販に取り組めます。

ロール事業

- ▶ 鉄鋼向けは、鉄鋼市況の悪化や円高、さらに価格競争の激化の影響もあり減収。
- ▶ 非鉄向けは、自動車用タイヤ製造設備向けのゴム用ドリルドロールの販売が好調。

3,535百万円
(前期比30.0%減)

売上高推移 (単位:百万円)



ドリルドロール

今後の取り組み

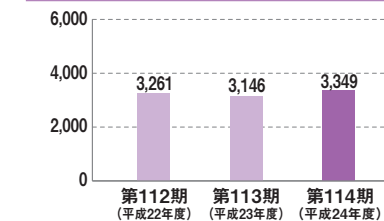
提案型営業活動と技術サービス・技術サポートに努め拡販に取り組めます。

グレーチング事業

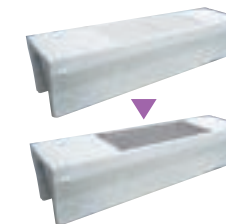
- ▶ 積極的な提案営業に努め、道路・空港案件に加え、プラント向けの受注も増加。
- ▶ 東北地方の漁港向けに高い耐食性を持つ「ヨド さびガードグレーチング」を納入。
- ▶ 新商品では、コンクリート二次製品メーカー向け「ヨドグレーチングナイスキャッチ」が好評。

3,349百万円
(前期比6.4%増)

売上高推移 (単位:百万円)



ヨド さびガードグレーチング



ヨドグレーチングナイスキャッチ

今後の取り組み

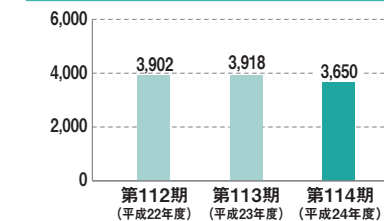
引き続き提案型営業活動と高機能商品の拡販に注力いたします。

不動産事業・その他事業

- ▶ 不動産事業は、販売用不動産の売却に伴い増収。
- ▶ その他事業は運輸業及び倉庫業の売上が減少。

3,650百万円
(前期比6.8%減)

売上高推移 (単位:百万円)



泉大津工場 太陽光発電システム 架台設置状況

今後の取り組み

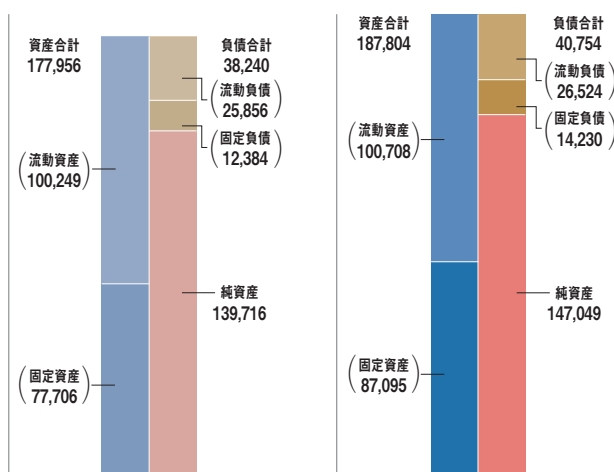
泉大津工場内に発電能力1メガワットの太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度に基づく売電を平成25年9月より開始する予定です。

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

第113期(平成23年度)

第114期(平成24年度)

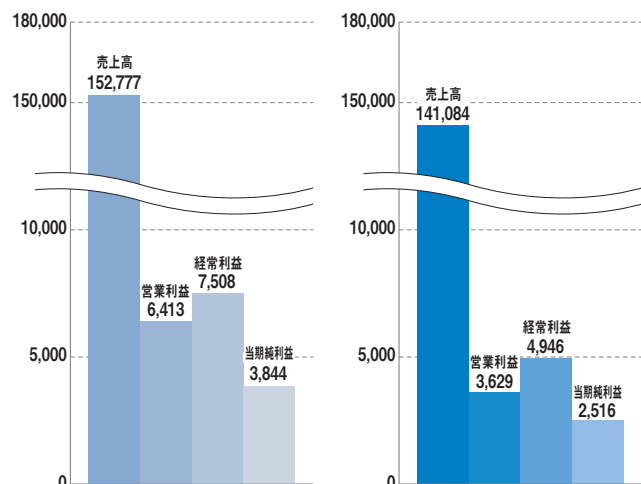


連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

第113期(平成23年度)

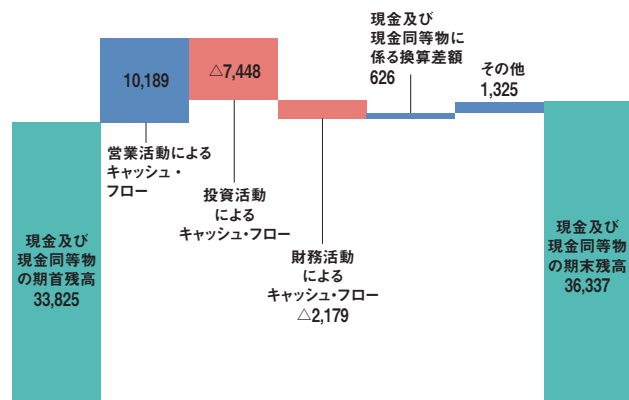
第114期(平成24年度)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

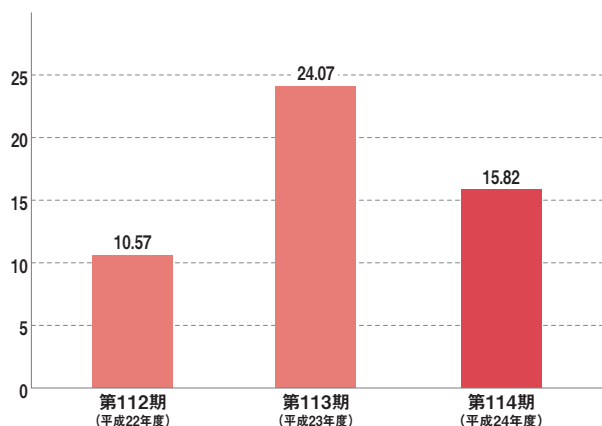
(単位:百万円)

第114期(平成24年度)



1株当たり当期純利益(連結)

(単位:円)



(平成25年3月31日現在)

当社の概要

社名 株式会社淀川製鋼所
 設立 昭和10年1月30日
 資本金 23,220,815,228円
 従業員数 1,247名

当社の主な事業所

本社 〒541-0054
 大阪市中央区南本町四丁目1番1号
 06-6245-1111

支社 〒104-0041
 東京都中央区新富一丁目3番7号
 03-3551-1171

営業所 札幌、盛岡、仙台統括、新潟、長野、高崎、東京統括、横浜、静岡、北陸、名古屋統括、大阪統括、神戸、岡山、福山、広島、高松統括、高知、八幡、福岡統括、鹿児島、沖縄

工場 大阪(大阪府)、呉(広島県)、市川(千葉県)、福井(福井県)、泉大津(大阪府)

当社の主な関係会社

- 連結子会社
 - 高田鋼材工業株式会社 鋼板の加工および販売
 - 盛餘股份有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - 白洋産業株式会社 鉄鋼卸業、運送業
 - 京葉鐵鋼埠頭株式会社 倉庫業
 - ヨドコウ興発株式会社 ゴルフ場等経営および不動産賃貸
 - 淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - PCM PROCESSING (THAILAND) LTD. カラー鋼板の製造、加工および販売
- 持分法適用関連会社
 - 株式会社佐渡島 鉄鋼卸業

当社の役員 [平成25年6月27日現在]

取締役	執行役員
代表取締役会長	國保 善次
代表取締役社長	河本 隆明
取締役	専務執行役員 西村 修
取締役	常務執行役員 大森 豊実
取締役	常務執行役員 林 眞生
取締役	石田 榮次
	上席執行役員 大森 眞
	上席執行役員 澤田 滋
	上席執行役員 鉄橋 彰
	上席執行役員 二田 哲
	執行役員 海老原洋一
	執行役員 渡辺 隆昌
	執行役員 服部 格
	執行役員 中野要一郎
	執行役員 河本 善博

※石田榮次氏は会社法に定める社外取締役です。

監査役

監査役(常勤)	境口 勝己
監査役(常勤)	向井 信正
監査役	湯浅 光章
監査役	宇津呂 修

※湯浅光章および宇津呂修の両氏は会社法に定める社外監査役です。

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 ※当社ホームページをご覧ください。 http://www.yodoko.co.jp/

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式		特別口座に記録されている株式	
お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	お手続き・ご照会の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・氏名などの変更 ●配当金の受領方法・振込先の変更 	口座を開設されている証券会社	<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・氏名などの変更 ●配当金の受領方法・振込先の変更 	特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物の発送・返戻に関するご照会 ●未払い配当金に関するご照会(※) ●その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物の発送・返戻に関するご照会 ●未払い配当金に関するご照会(※) ●その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(※)未払い配当金のお支払いについては、株式会社みずほ銀行本店及び各支店でもお取り扱いいたします。

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話…………… 0120-288-324 (フリーダイヤル)
インターネット…………… <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
郵送物送付先…………… 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

スチール! & アイデア! ヨドコウ

〒541-0054
大阪市中央区南本町四丁目1番1号
TEL.(06)6245-1111 (大代表)
<http://www.yodoko.co.jp/>



重要文化財

ヨドコウ迎賓館のご案内

旧山邑家住宅



フランク・ロイド・ライト 設計

開館ご案内

開館日・水・土・日曜日と祝日
開館時間・10時～16時(入館は15時30分まで)
入館料・大人・大学生/500円 団体/400円(30名以上)
小・中・高校生/200円 団体/100円(30名以上)

お問い合わせ

淀川製鋼所 広報課 06-6245-9103
ヨドコウ迎賓館 0797-38-1720
<http://www.yodoko.co.jp/geihinkan/>

